

十二山の神講

もうふ



成人

十八禁

指定



××地方の
とある山村

この村に住む人々は
水や山の幸など
たくさん恵を下さる
十二山の神を祀っている



今年も良い子らに
出逢えますように…

一年に十二の子どもを
生むという伝説と
関係があるようだ

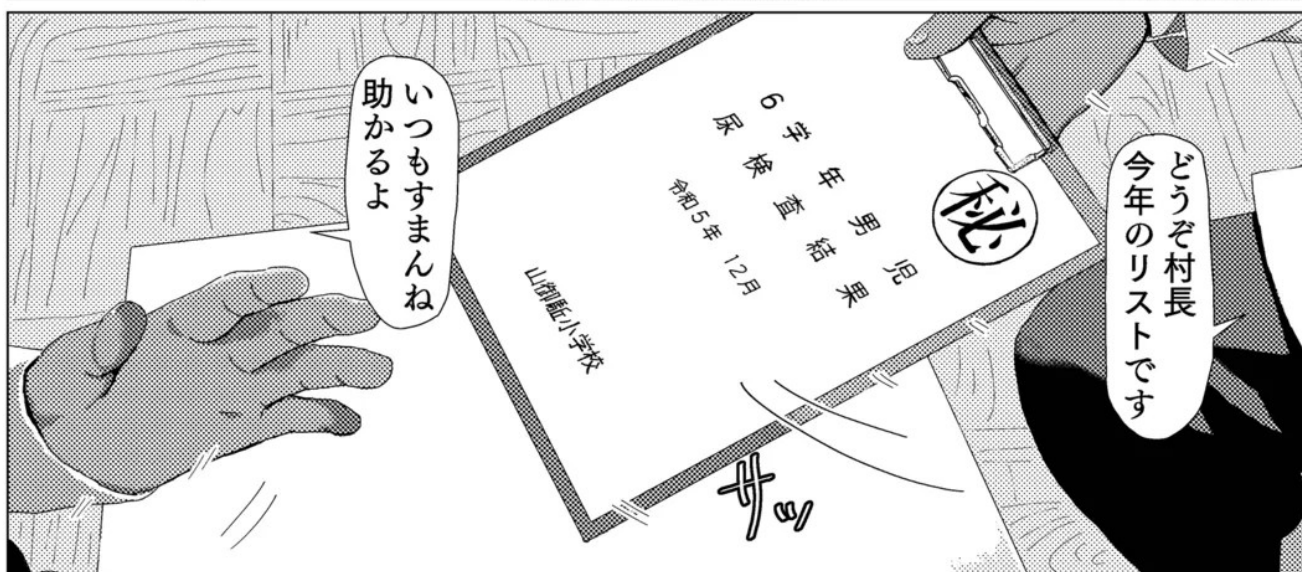


十二山の神は
十二の数と
密接な関係を持つ

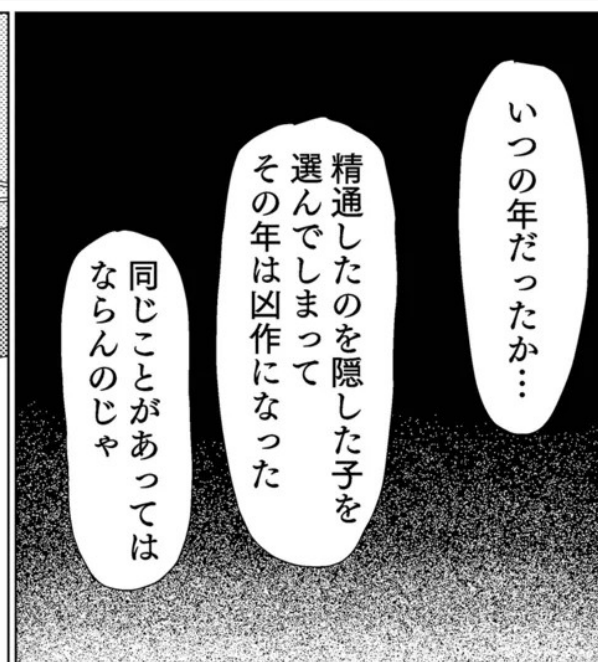


十二地蔵さま
どうか…

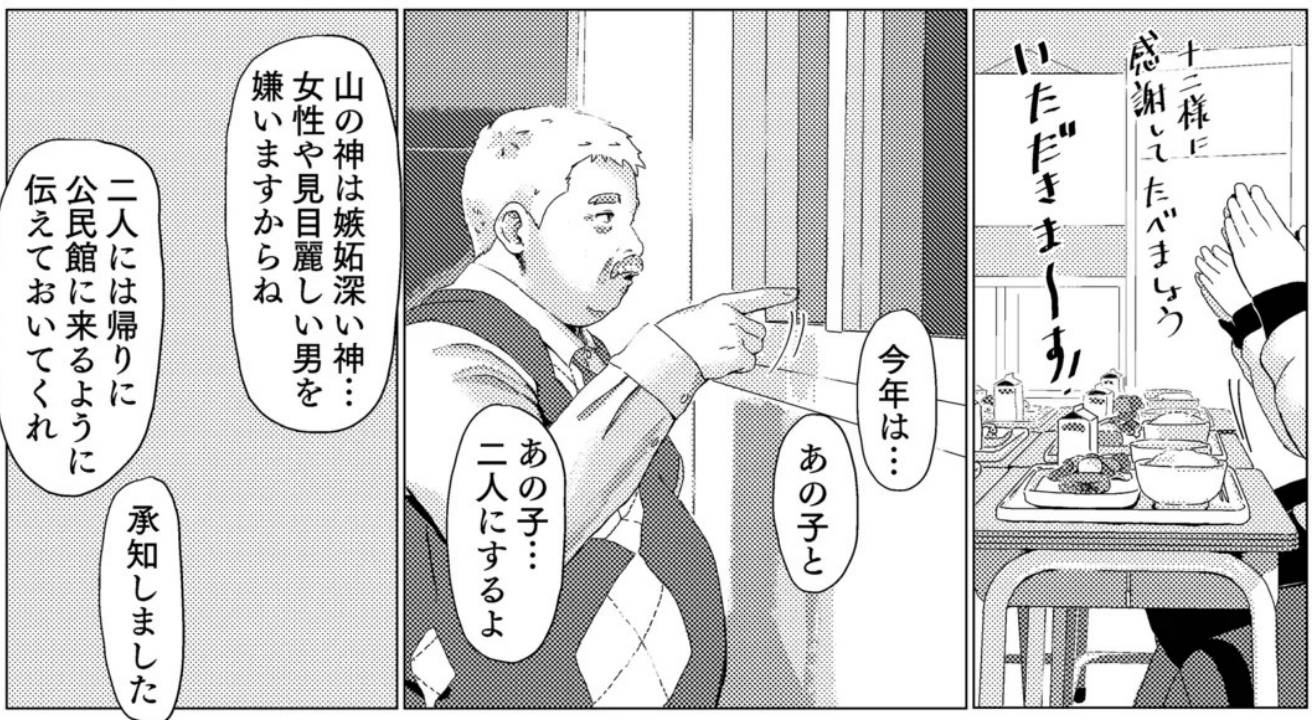
一年の月の数
もしくは

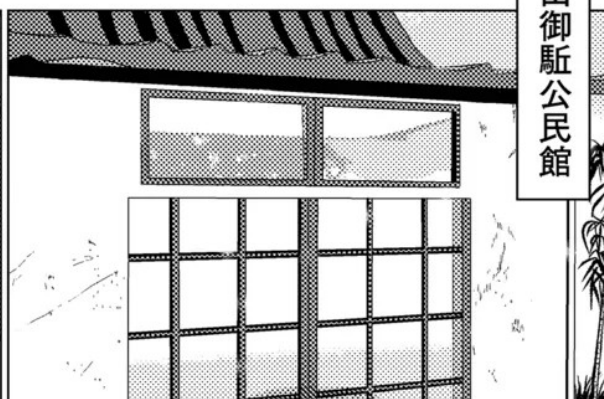


年男児 尿検査結果		令和5年12月			
氏名	年齢	蛋白	潜血	糖	精子
岩田 奏	12	+	—	—	有
大澤 佑馬	11	—	—	—	無
川上 結翔	12	—	—	—	無
桐谷 輝太	12	—	—	—	有
工藤 一真	12	—	—	—	無
小松 蒼来	12	—	—	—	有
渡辺 凌生	12	—	—	—	有









村長…

なんで毎年
デブばっか
選ばれるんだ？

僕も気に
なります

それは…

まさか山の神は
美しく無い男が
好きと言えんしな…

そうだ…
こんな言い
伝えがある

祭りの日
山の神は御神酒を
飲みに里に降りてくる

※注
その時にサイの神が
山の神を妊娠させた

それから山の神は
多産の願いを叶えて
くれるようになったんじゃ



サイの神は
遅い男じゃ

だから

お前達のような
恰幅の良い者が
選ばれるんじや

へー!!

ほっ…



祭りは神聖な儀
まず、祭りの二日前から
籠り屋で寝泊まりし

精進潔斎して
体の内側も外側も
清めなくてはならん



それで

神子って
何するんですか?



それだけ?

つまんか
ないか

いや、ここからが
大切なんじや



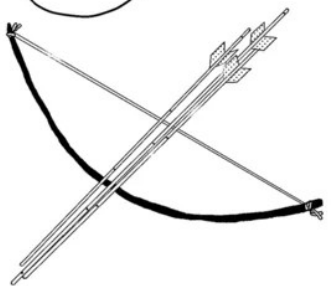
【藁苞(わらつと)】

藁で編んだり束ねたりしたもので
中に物を入れるようにしたもの。
また、人や性器の形をした苞などもあり
神の依代として使われる。



【粢(しとぎ)】

生の米をついて粉状に
したもの。または、それを
水でこねて丸めた食べ物。
ハレの日の神前に供える。

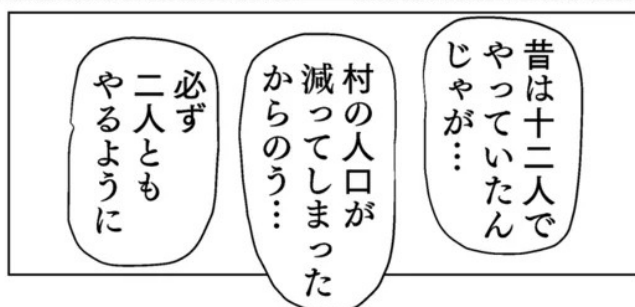


【弓矢】

的にかかった害鳥の鳥を追い払うためとか
悪魔を払うためともいわれている。
これから山仕事に入ろうとする者の
山の安全と山の幸の収穫を祈念している。

それから粢や藁苞
弓矢を作って

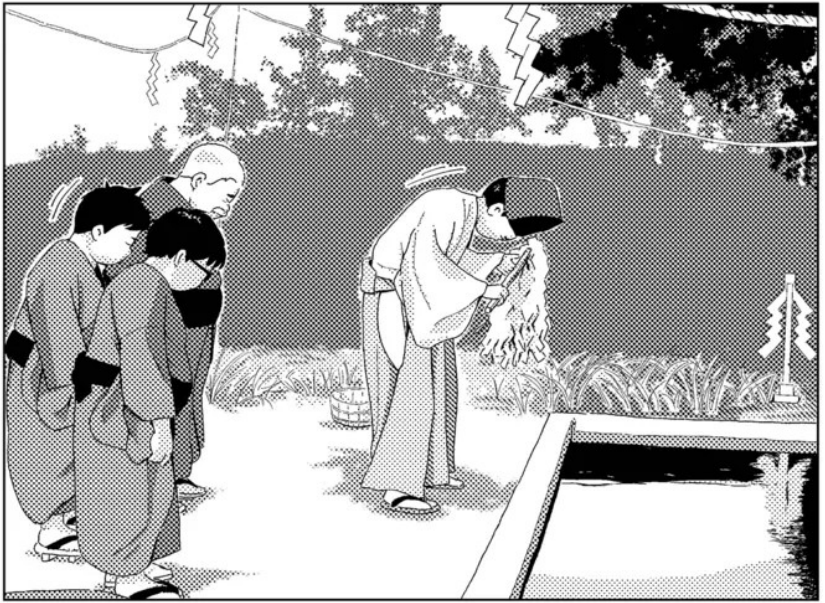
十二月十二日の
早朝に十二神社に
奉納するんじや



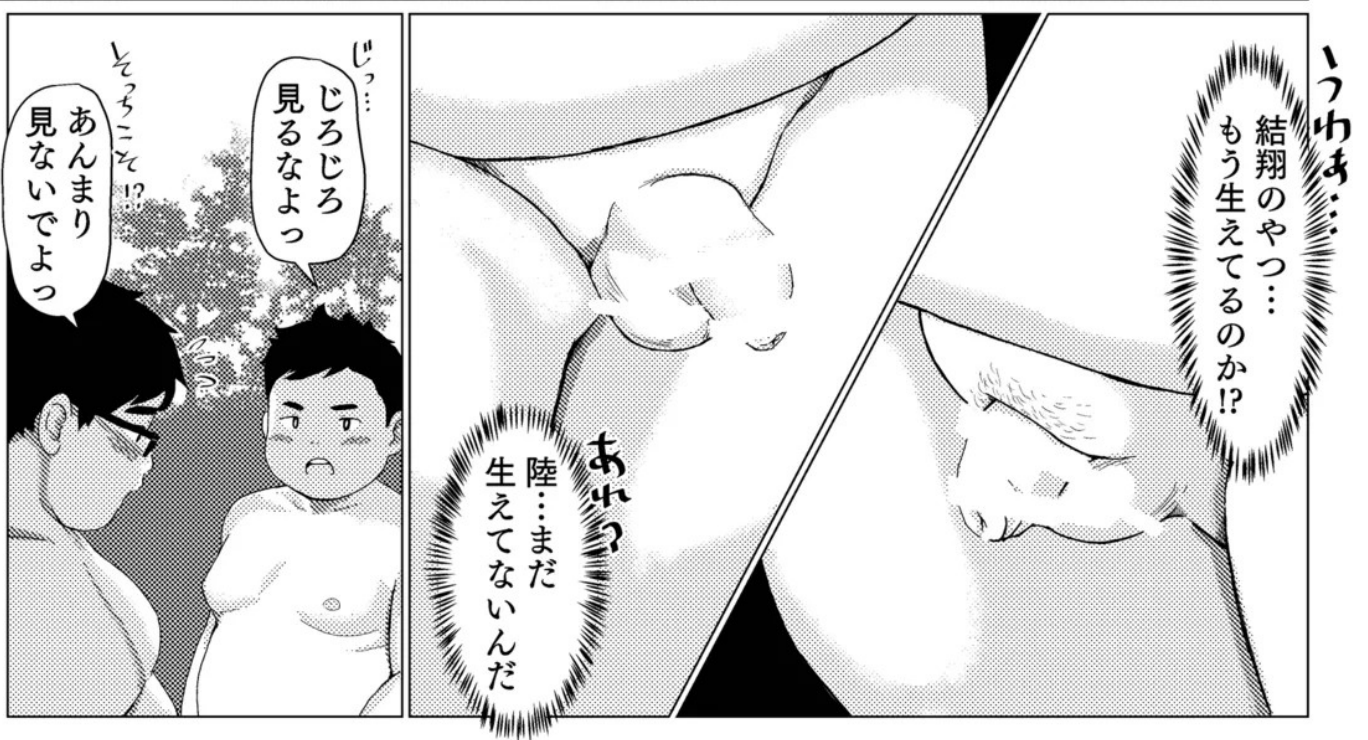


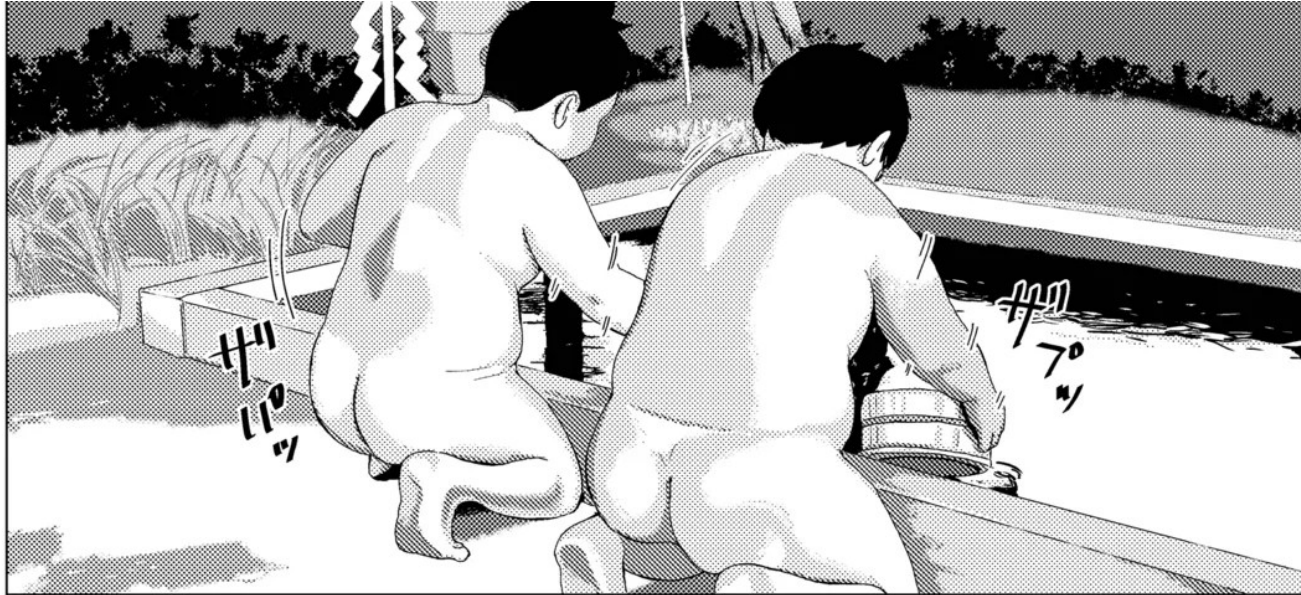


十二月十日
夕刻









籠り屋

ここに
二日間かあ

なんか
すごいね

結果も
張ってある

あやに
あやに
奇しく尊

十二の御山の
神のみ前を
おろかみする

ホド清め?

さあ
ホド清めを
しようか

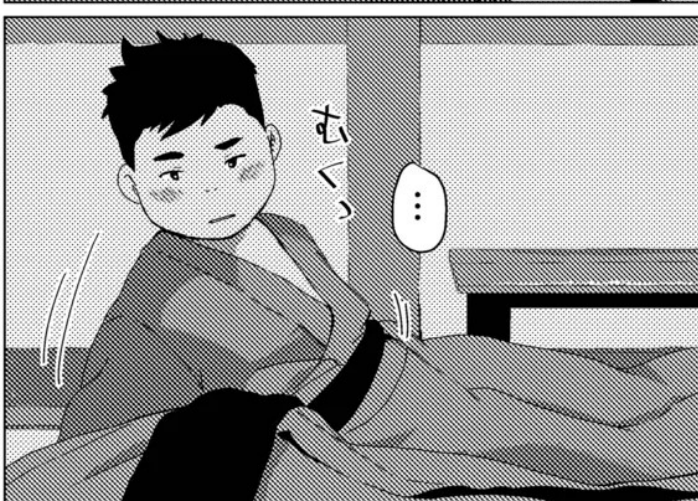
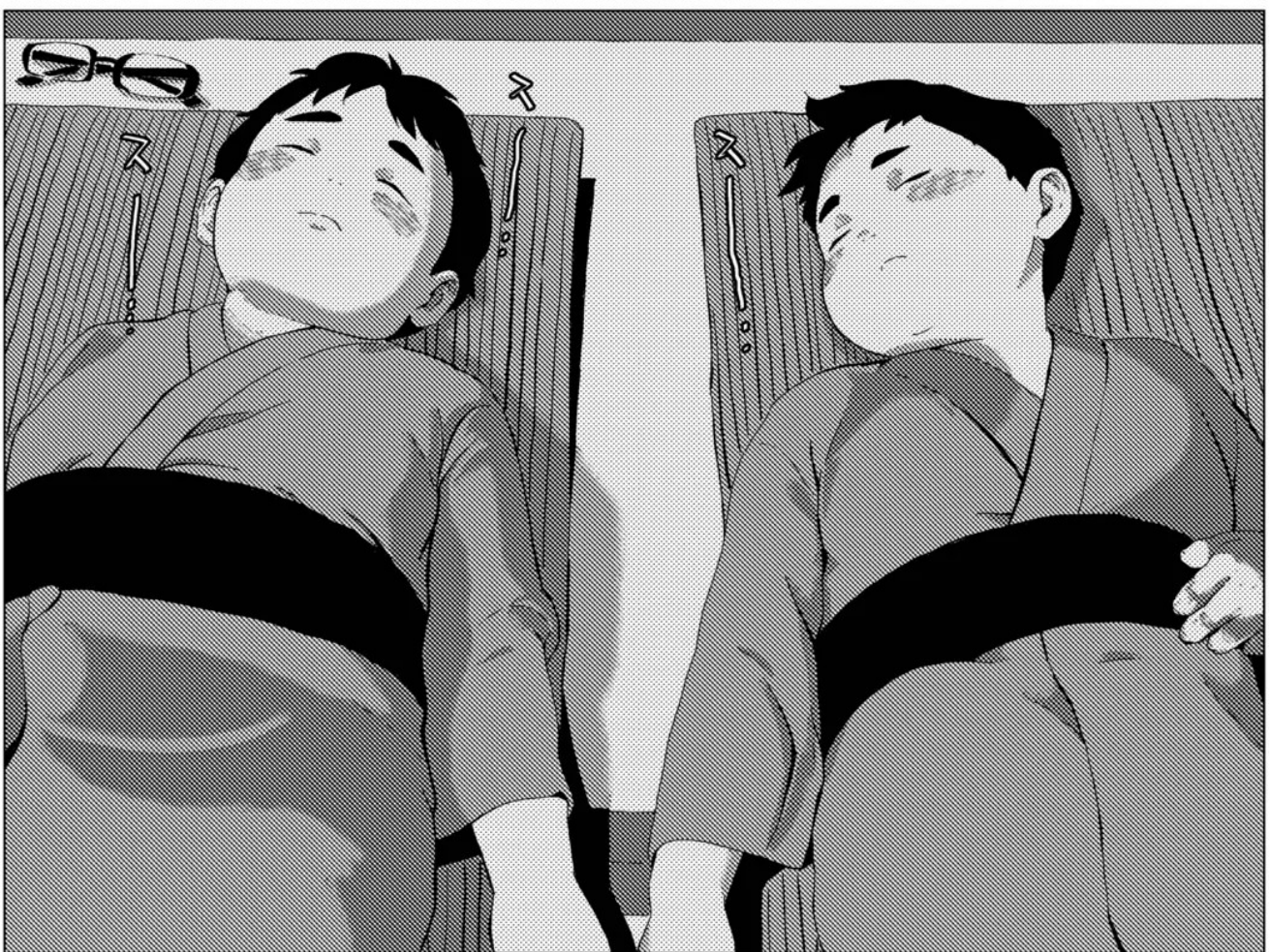
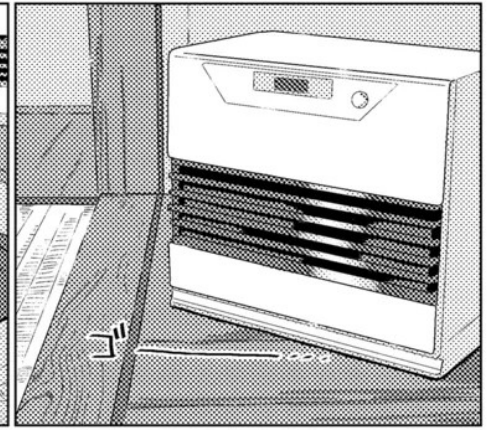
火の神が宿る囲炉裏を
お清めするんだ
清浄な火でこしらえた
ものしか食べちゃならん

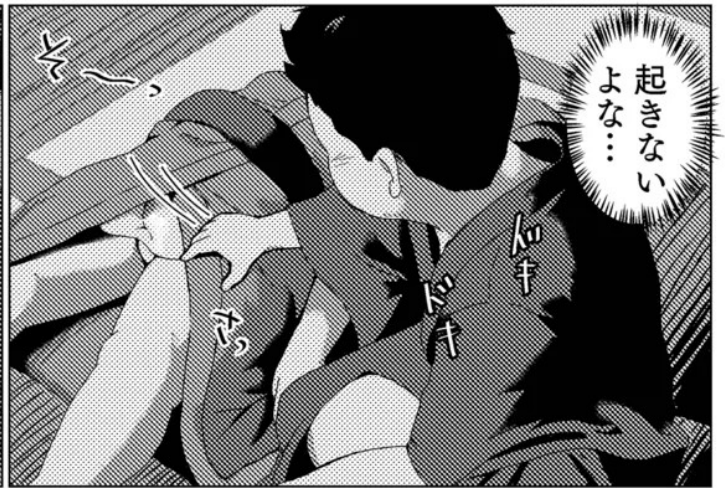
しきたりがあつて
1000年から続いてるんだ
そういうのを崩しちゃうと
ダメになるんだよ

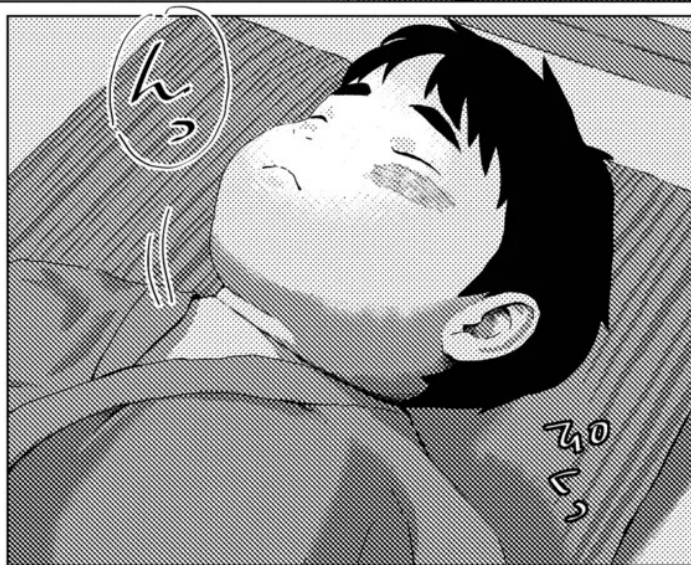
なんで?





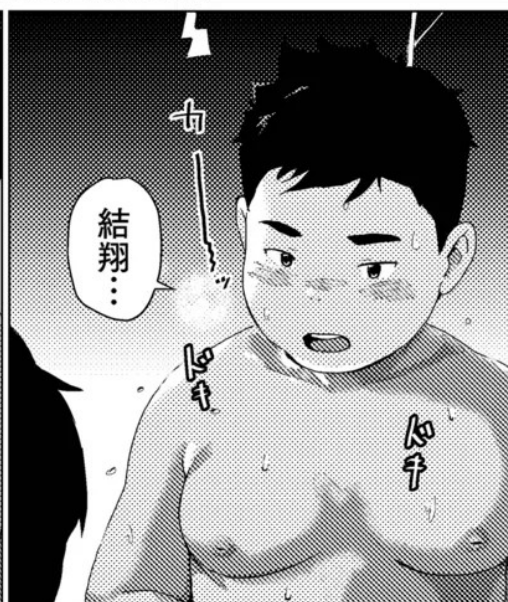






十二月十一日
早朝 五時

ダイゴ
ダイゴ
ダイゴ







十二月十二日
早朝 三時

なんか目が
さめちゃった

おれも

早めに水垢離
終わらせようぜ

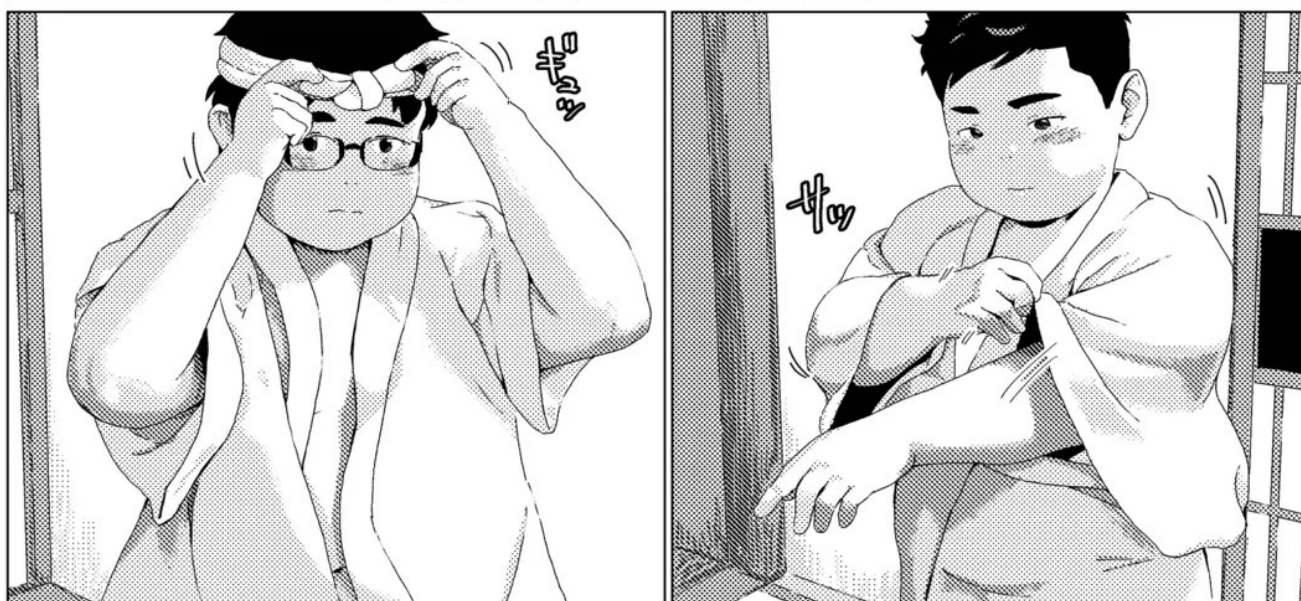
がらッ

あっ

キュッ

雪だ!!







いろいろあるが
一番は山の神が
喜ぶからじゃ

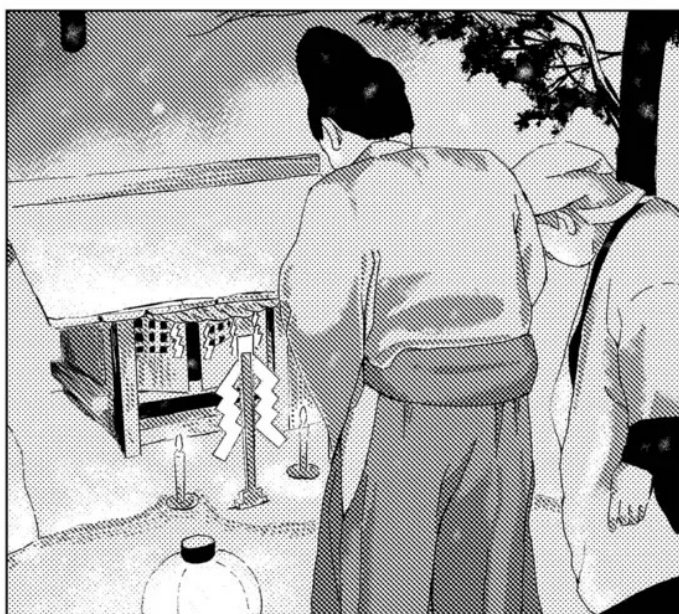
えー…

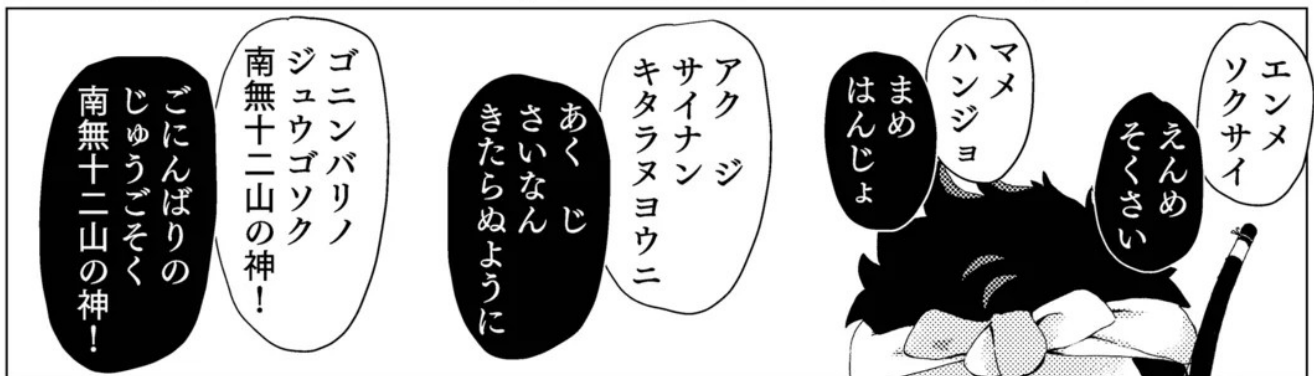
モシ

絶対に隠しちゃ
ならんぞ

まだなす…

それじゃ
行こうか



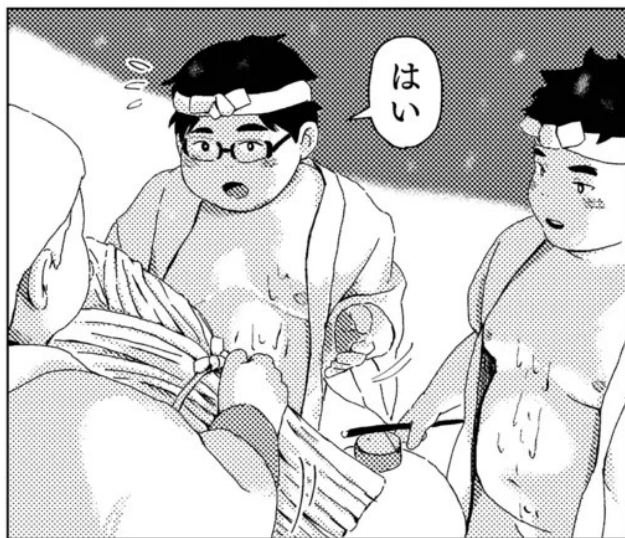


しとき
染を
塗るぞ
ゆる??

二人とも
こっちへ



これでよし





暗くて前が見えないっ

とろ〜っ

ギョッ



やっと登り切った…

結翔も早く来いよ

ちよっと待ってっ！



あっ!!

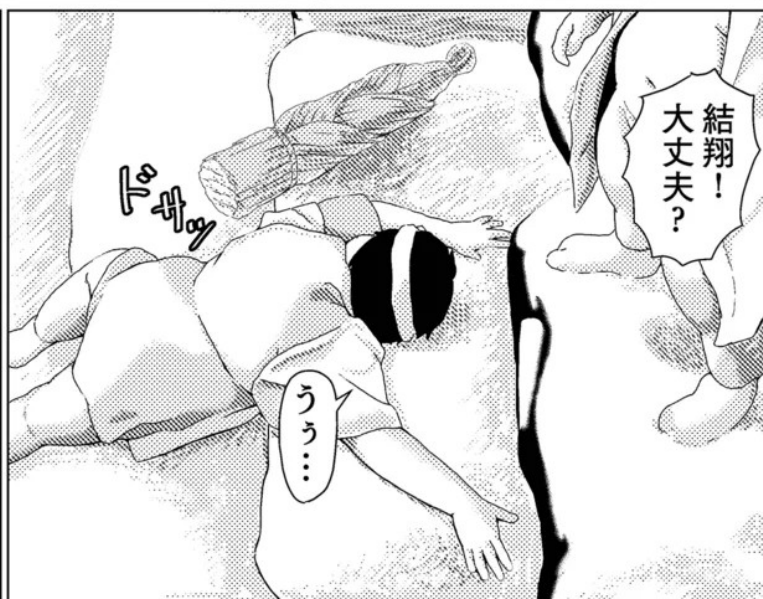
クラッ

///\\



ほらつかまれ

サッ

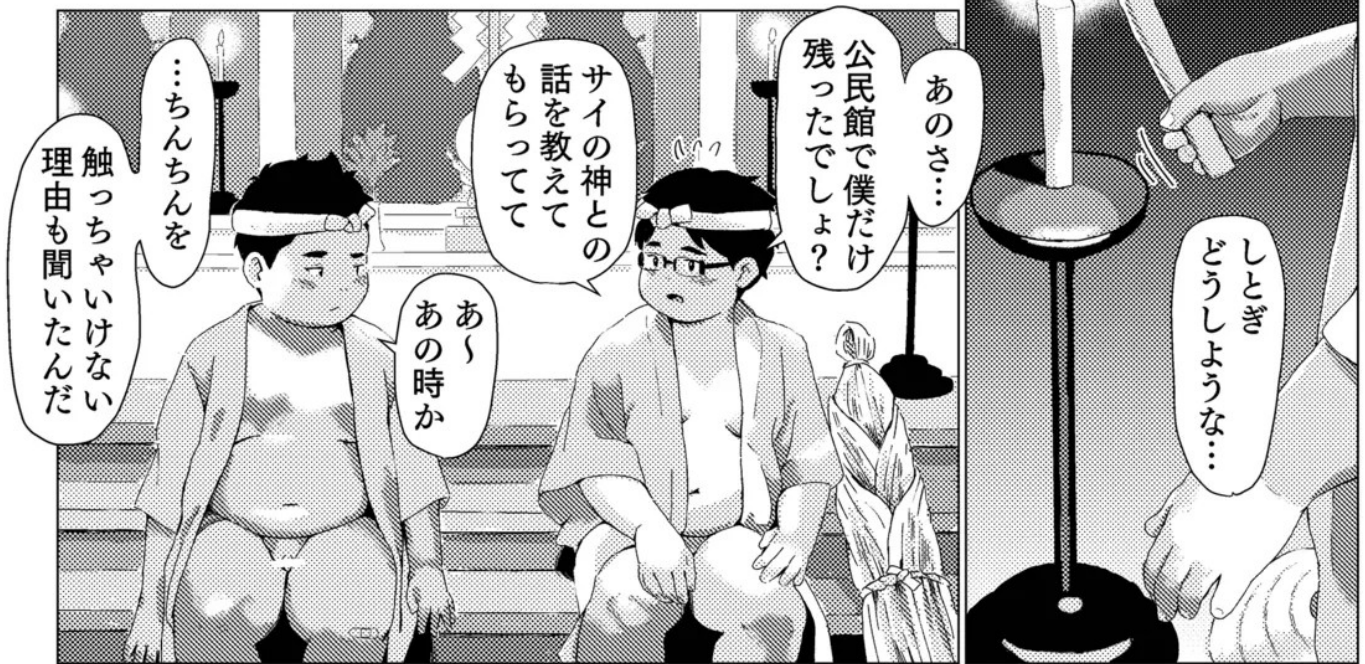


結翔！大丈夫？

うう…

ドサッ







キ

ル

なんか...
勃ってきた

ほくも...

さわっても...
いい?

えっ!?

あに

もみ

もみ

もみ

もみ

はー

はー

もみ

もみ

ぽく

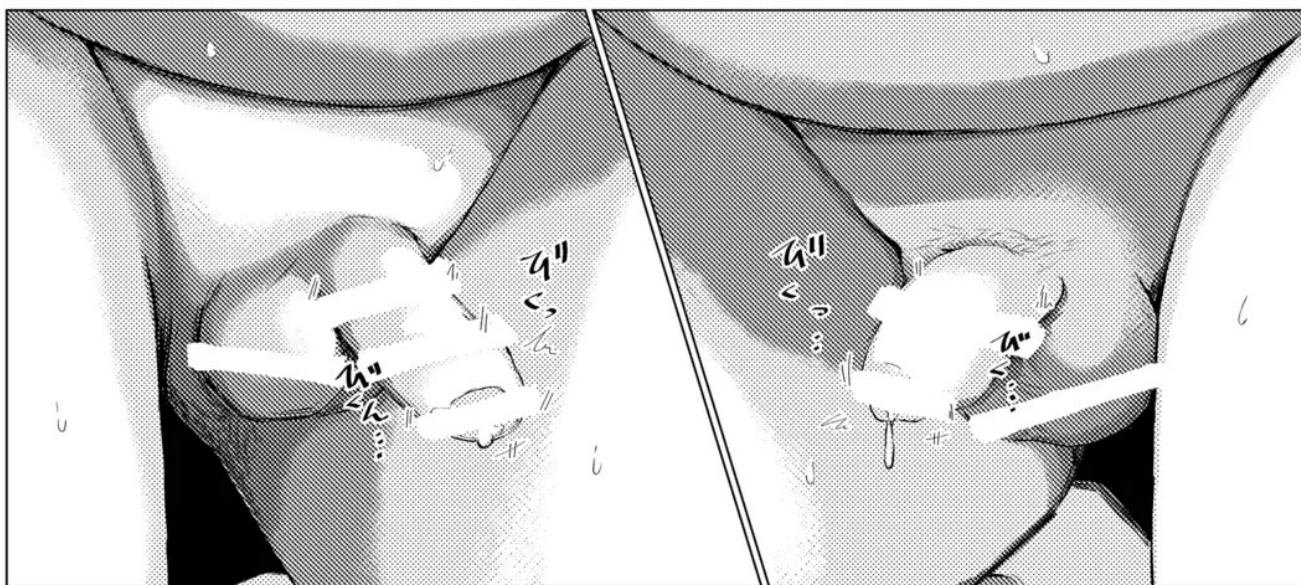
ポツ

ぽく

ポツ











しかし翌年
田畑の収穫は
いつもの12倍

村の出生率も
12倍であつた
そう

これ以降
苞には桑の
代わりに

体格の良い男児の
初めての精液が
注がれるようになった



村では今でも
この伝統が
受け継がれている
そう

今年は…

あの子と

…あの子の

二人にしよう

おしまい

あとがき

X(旧twitter)を流し見していた時、祭のニュースを見つけました。
伝統行事でもあるその奇祭は、集落の平穏を祈るために寒風が吹く中
上半身裸の男児が元気よく区内を走り、山の神様にお供えをする。

略

これがもしもイニシエーションの儀式なら……。

藁苅や染など祭りに登場するモチーフ

各地域の山の神にまつわる資料を集めて創作してみました。

少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

ご感想などお待ちしております。



「十二山の神講」

著 者 もうふ

発行元 MOW

発行日 2024年8月10日

連絡先 moufu.mfmf@gmail.com

